

日本版SOX法対応に向けて

〈信用リスクを意識した与信管理のポイント〉

- 2008年4月1日以降に開始される事業年度から「日本版SOX法」が適用されます。「内部統制」、「日本版SOX法対応」と銘打ったセミナーや講演が盛んに行われており、法対応のためにあらゆるITツールが用意されていることがわかったものの、実際に「どこまで対応すればいいのか?」といった疑問を抱えていらっしゃる方は少なくないと思われます。
- 本セミナーでは、自社の内部統制の現状をどのように把握すべきか、また、取り組むべき具体的課題とその対応方法を事例を交えてご説明いたします。
- 貴社の内部監査、コンプライアンスをご担当されている方やマネジメントの方には是非ご参加頂きたい、ご案内申し上げます。

日時/会場

- ▶ 日時 : 平成18年12月15日(金)14:00~16:30 (受付開始:13:30~)
- ▶ 会場 : 泉ガーデンコンファレンスセンター(地下鉄南北線『六本木一丁目』駅直結)
※裏面ご案内図をご参照ください
- ▶ 定員 : 150名(申込順)
- ▶ 参加費 : 5,000円(1人)のところ、2名様まで無料ご招待致します
- ▶ 主催 : AGS株式会社(旧あさひ銀総合システム株式会社)
- ▶ 共催 : 株式会社コーポレートディレクション

プログラム

第一部	<ul style="list-style-type: none">■ 日本版SOX法の概要レクチャー CDI-Sのご紹介 内部統制の確立と企業価値の向上 日本版SOX法の概要と経営者の責任 整備すべき統制項目(COSOフレームワーク)■ 日本版SOX法対応プロジェクトの進め方(一般論)説明 CDI-Sによる一般的な日本版SOX法対応 プロジェクトの進め方について■ CDIソリューションズの簡易診断の説明 簡易診断の狙い、項目 日本版SOX法対応レベルの基準 簡易診断のアウトプットイメージ
第二部	<ul style="list-style-type: none">■ 与信管理サービス「ニューロウォッチャー」ご紹介 与信管理の必要性

講師プロフィール



畠中 一浩

(CDIパートナー 兼 CDIソリューションズ代表取締役 CEO)

早稲田大学理工学部卒。同大学工学修士。

公認情報システム監査人(Certified Information Systems Auditor(CISA))。

アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア マネジャー)を経てコーポレートディレクションに参画、現在に至る。

SOX対応プロジェクト責任者。



森田 克己

(CDIアソシエイトパートナー 兼 CDIソリューションズ ディレクター)

一橋大学商学部卒。

アンダーセン・コンサルティング(現アクセンチュア)、ジェームスマーチン・アンド・カンパニー・ジャパン(現ヘッドストロング・ジャパン)を経てコーポレートディレクションに参画、現在に至る。

化学メーカー他にて日本版SOX法対応プロジェクト(プロジェクトリーダー)を遂行中。

お申込方法

Web申込 ・ ・ <http://www.ags.co.jp/seminar/index1.html> よりお申込ください。

会場のご案内

●泉ガーデンコンファレンスセンター

東京都港区六本木1-6-1

泉ガーデンタワー7階 ROOM1+2

http://www.sumitomo-rd.co.jp/izumig_cc/access.html

- 地下鉄南北線『六本木一丁目』駅直結
- 地下鉄日比谷線『神谷町』駅より徒歩6分

